

お知らせ

平成26年9月24日

同時資料提供先

合同庁舎記者クラブ
広島県政記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

ほろらしき 歩廊式橋梁点検車の操作説明会を実施します

～『Hozen3,000』「点検・診断から始まる 3,000 橋保全ミッション」～

今年7月に実施したバケット式橋梁点検車の操作説明会に引き続き、橋梁点検等に従事する技術者に対して歩廊式橋梁点検車の操作説明会を開催します。

- 日 時：平成26年9月29日（月）～10月1日（水）10:00～16:00
- 場 所：広島県広島市安芸区船越南2丁目8番1号
国土交通省中国技術事務所構内
- 対 象 者：橋梁点検従事技術者（建設コンサルタント、中国技術事務所災害時協力協定業者、中国地方整備局職員） 合計 約45人
- 開 催 内 容：歩廊式橋梁点検車（倉吉河川国道事務所保管）の操作説明及び操作訓練
- プログラム：あいさつ
趣旨説明
操作講習（座学 10:00～11:30）（操作実習 13:00～16:00）
- 備 考：説明会は全て公開で実施し、撮影は可能です。
但し、操作実習中の取材については、担当者の指示に従ってください。
尚、悪天候の場合には、中止することがあります。

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 中国地方整備局 中国技術事務所

副所長（技術）	ふじわら 藤原	ひろあき 博明	
副所長（機械）	みやたけ 宮武	ひでのぶ 英信	
技術情報管理官	にしこおり 錦 織	なおき 直紀	（橋梁点検・診断関係）
施工調査・技術活用課長	やまぐち 山口	たくみ 巧	（橋梁点検車関係）

住 所： 広島市安芸区船越南2丁目8番1号
電 話： 082-822-2340（代表）
URL： <http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/>

橋梁点検車操作説明会場の案内図

アクセス方法

バスの場合

広島駅12番乗り場から
海田市方面行き（約20分乗車）
入川バス停下車 東へ徒歩5分

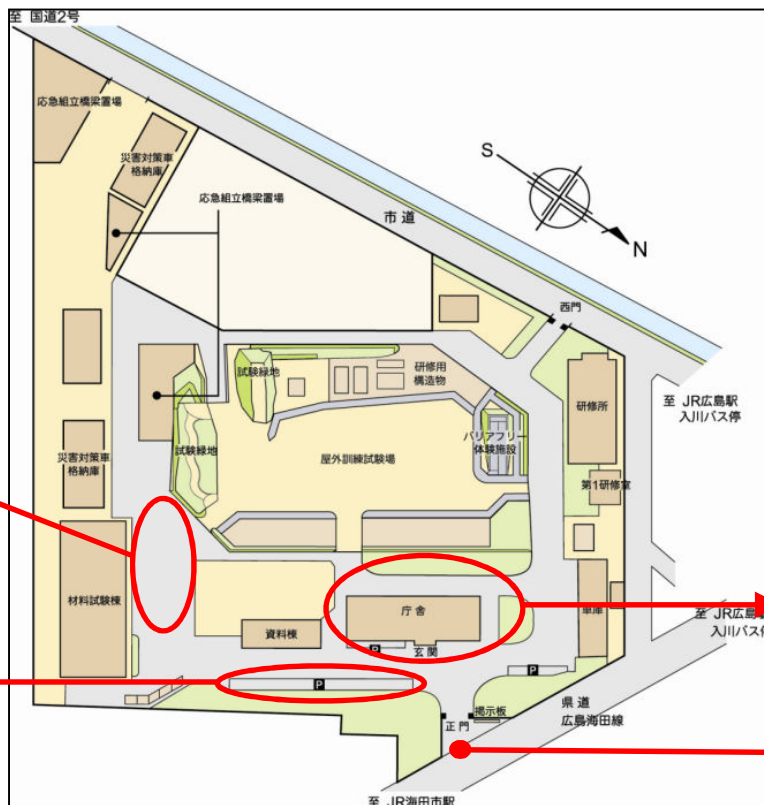
JRの場合

広島駅から 山陽本線（上り）
または
呉線（上り）
（約10分乗車）
JR海田市下車 西へ徒歩15分



位置図

県道広島海田線沿いに正門があります。



【操作実習】
中国技術事務所
材料試験棟前

来客用
駐車スペース

【座学】
中国技術事務所
講堂(3F)

こちらの正門より
お入りください。

中国技術事務所構内配置図

歩廊式橋梁点検車



(作業可能範囲)

- ・最大横断歩廊長さ : 14.0m
- ・最大地下深さ : 5.0m
- ・最大乗り越え高さ : 4.0m

(車両諸元)

- 全長: 11,968mm 全幅: 2,490mm
- 全高: 3,460mm 車両総重量: 23,170kg
- 許容積載荷重 : 200kg(歩廊部先端)

一度に橋梁下部全面を点検するのが得意な機械です。

(参考: 橋梁点検車(バケット式)操作説明会(H26.7.28~8.1))

操作説明書による説明



実機の説明



実機の操作説明



中国技術事務所

『Hozen3,000』 ～「点検・診断から始まる3,000橋保全ミッション」～



- ・品質確保のための調査・試験
- ・構造物耐久性向上に関する検討

品質確保



- ・橋梁点検、評価支援
- ・保全技術支援

点検・診断



新設橋梁
設計・施工

既設橋梁
補修・補強

- ★点検・診断結果、補修補強工事結果の蓄積
- ★新設橋梁の長寿命化へもフィードバック
- ★蓄積されたデータで自治体支援

- ・「点検診断」・「品質確保」・「技術開発」の協働効果で、直轄国道約3,000橋の保全を支援します。



技術開発

- ・現場二一スの調査
- ・新規研究テーマの創出
- ・新技術(NETIS)登録管理
- ・構造物延命化の技術開発・支援
- ・点検車輛操作等、点検支援